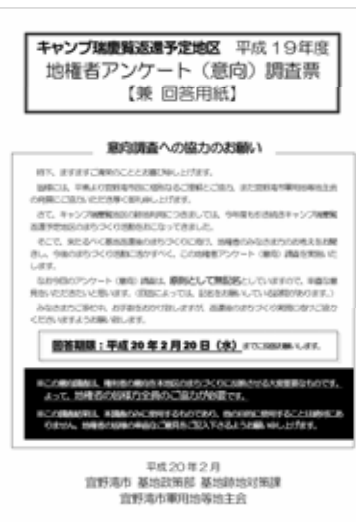


### 3. 地権者アンケート（意向）調査について・・・つづき



今年度のアンケートは、原則として無記名としています。個人を特定することなく、みなさんの意見の傾向として、どのように考えてみえるのか、を確認させていただき、今後のまちづくりの検討材料とさせていただきます。

今回のアンケートの期限は、**平成20年2月20日（水）**とさせていただきます。必ずご回答していただき、期限までにポストへ投函いただきますよう、よろしくお願い致します。

### 4. まちづくり相談会について

この度、下記の日程で「キャンプ瑞慶覧返還予定地区のまちづくり相談会」を開催します。相談会の会場では、個別に対応させていただきます。普段、疑問に思っていることや懇談会の場ではなかなか質問しづらい事など、何でも結構です。お気軽にご来場ください。

月 日	開催場所	時 間	対象字名	対応者
2月12日（火）	新城 公民館	17:00 ～19:00 (この時間内の都合のよい時間にお越し下さい)	ご都合のよい日に来てください。	宜野湾市 地主会 コンサル
2月13日（水）	喜友名 公民館			
2月14日（木）	普天間3区 公民館			

上記以外でも、平日の昼間（8:30～12:00、13:00～17:00）に市基地跡地対策課または地主会へ来ていただければ、意向調査の記入方法等について説明させていただきます。

※事前に送付した「第3回まちづくり懇談会資料」に、開催案内を同封していますが、本ニュースがお手元に届いた時に期日が終了している場合は、ご容赦ください。

### 5. 地主会会長のあいさつ

キャンプ瑞慶覧返還予定地区について、現在の状況が宜野湾市部長さんから話がありましたが、行政・地主会・地権者が一体となって取り組んでいかないと進みづらいところがあります。

本日も文化課の方が出席してくれていますが、先人が残してくれた大事な財産である文化財も時間の掛かる重要調査が必要で、まちづくりに必要だと思います。

またアンケートについても、是非ご家族の方と相談されて回答して欲しいと思います。

今後も本地区のまちづくりに向けて、ご理解ご協力をお願い致します。

# キャンプ瑞慶覧返還予定地区 まちづくりニュース

発行：宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 2008年2月 Vol. 18  
TEL 098-893-4401（直通）

## 《本号の概要》 地権者のみなさんへ、アンケート調査にご協力をお願いします。

平素は、宜野湾市政に格段のご理解とご協力、更に宜野湾市軍用地等地主会の発展にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、去る2月5日（火）に『平成19年度 第3回まちづくり懇談会』を開催いたしました。

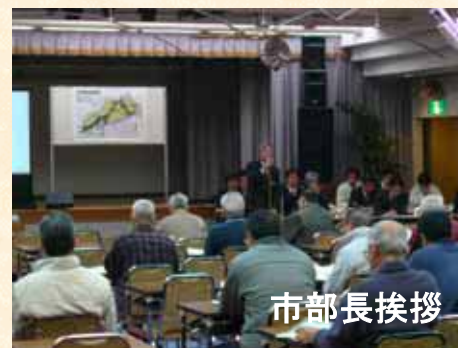
今回の『まちづくり懇談会』では、まちづくり勉強会参加者を対象に実施しました【県内先進地視察】、市文化課から【ぎのわん多自然型住宅地の湧泉について】、【地権者アンケート（意向）調査】、【まちづくり相談会】の開催など、説明をさせていただきました。その懇談会での内容について報告させていただきます。



会場の様子

### \*\*\*宜野湾市基地政策部長のあいさつ\*\*\*

本日は天気の悪い中、ご参加いただきありがとうございます。本地区は今年の3月の返還予定が、若干遅れるとの話がありますが、具体的には国が発表がありません。また返還に関する実施計画も大幅に遅れています。このような状況でも、いつ返還されても良いように取り組む必要があると考えています。



市部長挨拶

一昨年の最終報告にあるグアム移設について、昨年7月に中部の市町村で現地へ行ってきました。グアムでの基地移転先の環境調査が進んでいる事、今年の3月にグアム移設計画のマスタープラン(案)ができ、7月には本決まりする事が分かってきました。これを受け、嘉手納以南の返還について時期や計画がでてくると思います。

また本地区には10の課題があり、その中に斜面緑地に対する国の財政支援があります。今までに何度も市・地主会・市議会が各々で要請活動を行ってきました。しかし次年度からは、ひとつになりやっ払いという事で、現在調整中でございます。地権者みなさんの協力も得ながら、課題解決に向けてひとつひとつクリアしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

今回の懇談会の参加者は50名でした。まちづくり活動への参加は、基地返還後の跡地利用を考える第一歩です。今回のアンケートも同様ですが、今後も返還後の跡地利用を考える活動は継続されます。みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

### ニュース等に関する問い合わせ

宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 担当：新垣、名幸  
TEL：098-893-4401（直通） FAX：098-892-7022

## 1. まちづくり活動について（「県内先進地視察」報告）

今年度のまちづくり活動のひとつとして、【県内先進地視察】を実施しました。本地区の返還後のまちづくりを考える上で、県内の先進地事例を実際に見ていただき、紙面では伝わりづらい事などを感じ取っていただく事を目的に実施しました。

### 県内先進地視察 報告

開催日：平成20年1月17日（木）  
10：00～16：30

参加者：まちづくり勉強会参加者（21名）

#### 主旨・目的：

今年度のまちづくり勉強会のテーマに沿った、沖縄県内の類似地区または先進地区を視察・確認することで、本地区の返還後のまちづくり検討へ活かす事を目的に実施。

#### 視察先：

- ① ベルウェアハウジング/北中城村
- ② 那覇新都心エリア/那覇市
- ③ 首里末吉エリア/那覇市
- ④ 豊崎タウン/豊見城市
- ⑤ エコシティとはしな/豊見城市

#### 視察先位置図



今年度のまちづくり勉強会テーマ  
『**ぎのわん多自然型住宅地**』の整備の方針・方向性。  
『**瑞慶覧ハウジングエリア**』の目指していく将来像。

※視察先の様子は、事前送付の《第3回まちづくり懇談会資料》を参照ください。

#### 参加者の感想（一部紹介）

- ・住宅地での協定やルールの必要性を実感した。
- ・安全で美しいまちづくりのためには、地域の協力が必要と思った。
- ・歩いて楽しめる歩道は、まちのゆとりを感じさせる。
- ・大きな擁壁は圧迫感が強い。景観も悪い。
- ・斜面地での造成は、費用面が気になる。

実際に“まちづくりのためにルールを設けた統一感のある街並み”や“高低差のある住宅地での擁壁や住居の建て方”を見て、その良い点悪い点を実感されたと思います。

ちょっと意識して見れば、日頃見慣れたまちからも参考になることがあると思います。



参加者のみなさん、おつかれさまでした。

## 2. ぎのわん多自然型住宅地の湧泉について

キャンプ瑞慶覧返還予定地区には、国指定の文化財【喜友名泉（チュンナーガー）】以外にも、数多くの湧泉が存在しています。

これら湧泉について、“昔の状況”や“どのような謂れがあるか”など報告しました。

また、まちづくりの中で湧泉がどのような整備・活用がなされているか、市内外の事例を紹介しました。



#### 戦前の想定イメージスケッチ 【喜友名泉（チュンナーガー）】



ウフガー

カーグワー



本地区のまちづくりテーマは『水・緑・眺望を生かしたいやされるまち』です。

現在の環境や資源を積極的に生かし、個性と独自性あるまちづくりを実施するには、これら湧泉を生かすべき、と考えます。

今後も地域の宝とも言える湧泉など、どのように活用していくべきか考え、本地区を他にはない特色あるまちとなるよう、一緒に考えていきましょう。

※詳細は、事前送付の《第3回まちづくり懇談会資料》を参照ください。

## 3. 地権者アンケート（意向）調査について

キャンプ瑞慶覧返還予定地区のまちづくりは、地権者みなさんが主役となって、『官民協働』を進めています。そのためみなさんから本地区の返還後のまちづくりについて、どのようなお考えであるかを聞くことが必要不可欠です。

そこで、今年度も【地権者アンケート（意向）調査】を実施させていただきます。（既にみなさんのお手元には、第3回まちづくり懇談会資料に同封されたアンケート調査票が届いていると思います。）

本調査は、地権者みなさまのお考えを今後のまちづくり活動に活かすだけでなく、調査票の回答数（回収率）は、キャンプ瑞慶覧返還予定地区のまちづくりに対する地権者の取組み姿勢を関係機関にアピールする材料となります。

是非アンケートにご回答いただき、ご返送していただきますようお願いいたします。